

長坂ふれあいの
まちづくり協議会
&
神戸学院大学
ボランティア
活動支援室

地域と大学をつなぐ防災情報誌

vol.20

2026
spring

いっせーのせ

発行

伊川谷あんしんすこやかセンター

山下 千恵 さん・櫻井 夏希 さん

この人に会いたい！12



― 防災・減災の鍵は「人と人との繋がり」

センターの防災への取り組みは、ふだんの地域活動を大切にしています。そこにあるのは、「いざという時こそ、人と人との繋がりが大きな力になる」という想いです。

そこで、地域の方々が気軽に集まって交流できる“つどいの場”や“いきいき百歳体操”を通じた交流が、いざという時の助け合いにつながる大切なセーフティネットとなり、地域全体の防災力向上に繋がると考えています。

― 印象に残っている活動

数年前、地域で住宅火災が発生しました。日頃から友愛訪問ボランティアや民生委員の方々が中心となり、助けが必要な方の情報が共有されていたため、住民への支援活動を素早く始めることができました。

しかし、従来の電話連絡は個別連絡なので、情報共有に時間がかかってしまいます。そこで、大学生の協力のもと、友愛訪問ボランティアグループを対象としたスマートフォン講習会を開き、その場でLINEグループを開設しました。これは、緊急時だけでなく、日常的な連絡ツールとして活用されています。

住み慣れた地域で 「共に生きる」を支える



学生に期待することは？

つどいの場、ふれあい喫茶、スマホ教室などで交流を深めてきました。先輩から後輩への引継ぎも上手で継続的な関係を築けており、関係が続いていくことを望んでいます。



大切にしていることは？



一人で抱え込まず、意見を聞きながら最適な解決方法を探っていきます。「みんなで支え、協働して解決していく」姿勢を常に意識しています。

あんしんすこやかセンター

「地域包括支援センター」の神戸市における愛称で、高齢者の介護相談窓口です。保健師等、社会福祉士等、主任介護支援専門員、地域支え合い推進員を配置し、概ね中学校区に1か所の割合で設置しています。(神戸市HP)

神戸市外国語大学 × 神戸学院大学

学生スタッフによる共同企画

えいさいきょういく

英災教育 ～Let`s 防災English～



両者の強みを活かした交流イベントに！

12月13日（土）に神戸市外国語大学サテライト（神戸市西区学園西町）にて、神戸市外国語大学ボランティアコーナー学生スタッフ（以下、外大 学スタ）と神戸学院大学ボランティア活動支援室学生スタッフ災害班（以下、学院大 学スタ）が各々のキャンパス地域の小学生を対象に「英災教育（えいさいきょういく）～Let`s防災English～」を行いました。今回は英語教育の外大 学スタと防災教育の学院大 学スタのコラボ企画でした。

前半は外大 学スタが小学生でも楽しめる英語を交えたレクリエーションを行いました。中でも「英語でお描き」は、ペアの小学生が出題者と回答者に分かれて、ひとりがお題カードを引き、それを英語で説明します。そして、もうひとりが制限時間内に理解したものをイラストにします。お題によっては難しいものがあるため、大学生がヒントを出したり、一緒に考えたりするなどサポートをしました。子どもたちは持っている英語の知識を振り絞って、がんばって伝えていました。

後半は学院大 学スタが「防災かるた」を行いました。学生が手作りの防災かるたを楽しみつつ、地震や水害などの備え、緊急時の対処法などを子どもたちと学びました。子どもたちの白熱した戦いを見て、大学生も一緒に盛り上がる事ができました。ゲームが終わった後はいくつかのかるたをピックアップして防災の知識を深めました。

高笠原 春希さん
（神戸市外国語大学 外国語学部3年）

他大学の団体とのコラボイベントは初めてだったので緊張しましたが、小学生も大学生も楽しむことができました。今回のイベントでは防災と英語を取り上げましたが、それぞれの団体の強みを活かしたアクティビティをすることはとても面白い試みだと感じました。

またイベントを通して神戸学院大学のみなさんの活動の様子を拝見することができ、今後も他大学と共同して、「私達が地域にできること」について考えたいと思いました。



今回の企画では、各大学の強みが存分に生かされたと思います。子どもたちも主体的に参加してくれたため、楽しく学びのある時間を過ごすことができました。学生にとっても他大学生と連携することの魅力学ぶ貴重な機会となりました。

取材 神戸学院大学 経済学部2年 安部 礼恩



高村 日菜乃さん
（神戸学院大学 心理学部3年）

全体を通して臨機応変に動くことができてよかったです。大学生も子どもも楽しそうにしていた充実した時間を過ごせたと思います。また、防災と英語という二つの要素を一つの企画として組み合わせることは想像していた以上に難しかったです。

私は学スタを引退しますが、今後は、後輩たちが防災教育と英語教育の特性を理解し、自然につながり、子どもたちにもっと学びや気づきのある企画にブラッシュアップすることを期待しています。



★学生スタッフ子ども班企画★

不思議の国で秋を見つけよう！
アスレチック大冒険！



神戸学院生が、11月22日、須磨離宮公園（神戸市須磨区）で「不思議の国で秋を見つけよう！アスレチック大冒険！」を実施。

小学生を対象に、秋を感じながらスタンプラリーやアスレチックを楽しんでもらいました。明石駅から電車での移動だったため、子どもたちは普段見ない車窓からの景色などを見て楽しんでいました。大学生は子どもたちの安全に気を付けながら、引率しました。

学生リーダーの法学部2年の伊林芽衣さんは「予定と時間がずれてしまうこともありましたが、メンバーの助けもありうまく時間調整ができたので良かった。また、子どもたちに怪我なく楽しんでもらうことができたので嬉しかったです。スタンプラリーがスムーズに進むようにマップ上のポイントについてのメンバー全員の理解度を高めるのが課題です」と語りました。

取材 経営学部3年 角川 陽哉



ふるさとの川を美しく！

令和7年度 伊川大クリーン作戦

主催 伊川を愛する会 / 協力 神戸市西区役所

2025年12月7日（日）に開催されました。



神戸学院大学からは、硬式野球部、女子駅伝部の学生49名が参加！

長坂校区

神戸市西区防災訓練と合同開催

総合防災訓練

主催：長坂ふれあいのまちづくり協議会/長坂校区防災福祉コミュニティ

2026年 2月15日（日）

〔時間〕 10：00～12：00

※ 受付は9：30から学校ピロティにて

〔会場〕 神戸市立長坂小学校

※ 雨天のときは体育館等屋内で行います

訓練内容

- 1.避難・救出訓練 煙からの避難方法
ジャッキアップで救出法等
- 2.消火訓練 消火器取扱法、放水訓練
- 3.救急救命訓練
AEDを用いた心肺蘇生訓練等
- 4.パネル展示 被災地での神戸学院大
ボランティア活動等紹介
- 5.炊出し訓練 豚汁炊出しと試食
- 6.神戸市消防音楽隊演奏



いっせーのせ！



いっせーのせ
VOL.20

2026年2月1日発行

防災情報誌「いっせーのせ」は
長坂ふれあいのまちづくり協議会と
神戸学院大学ボランティア活動支援室が
年4回発行する情報誌です。
学生が記者となり、地域のフレッシュな
情報を発信していきます。

Publisher

長坂ふれあいのまちづくり協議会
神戸学院大学ボランティア活動支援室

Contact

神戸学院大学 ボランティア活動支援室
〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518
TEL:078-974-1551（大学代表）
E-mail :kgu-vc@j.kobegakuin.ac.jp